

真の省エネ住宅 エンドユーザーへの伝え方

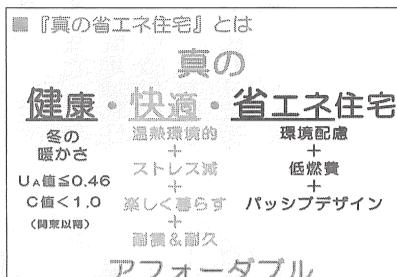
清水 雅彦

第1回 真の省エネ住宅を普及させる背景と目的



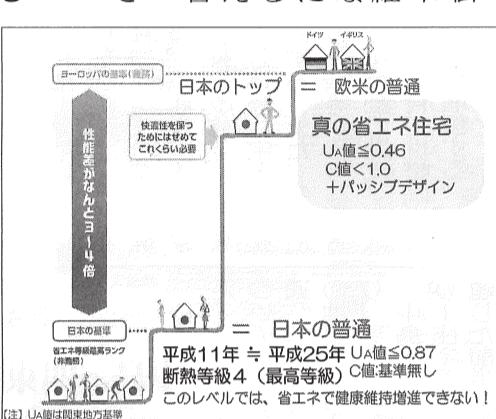
しみず まさひこ
船津地産株式会社 取締役建築部長 一級建築士・省エネ建築診断士・CASBEE 戸建評価員
初回接客から住まいづくり提案を行なう「住まいづくりアドバイザー」を担当。様々な切り口から省エネ住宅の価値を伝え、ワンランク上の断熱住宅を多くの方々に採用いただきました。大手建材メーカー在籍中には、高気密高断熱住宅の普及啓蒙活動と共に工務店への支援、エンドユーザーへの提案活動を行い、省エネ住宅の経験は20年を超える。

はじめまして。船津地産株式会社(FUNATSU HOME)の清水雅彦です。これから「省エネ住宅のエンドユーザーへの伝え方」について、私が実践している提案方法をご紹介していきます。第一回は「真の省エネ住宅」の普及活動に取り組むに至った背景と目的を「エンドユーザーへの伝え方」を交えながら説明します。



① 真の省エネ住宅とは
「住まいづくり」は生涯で最も高額な買い物と言われますが、比較検討の尺度がわかりにくく、ブランドやデザイン、価格、設備といった表面的な要素だけで購入判断されがちで、住んでから「暑い」「寒い」「結露」などの理由で後悔をされる方が後を絶ちません。最近の住宅においても「省エネ住宅」とうたついても断熱・気密不足の建物が多く、冬の寒さが住まい手の健康面に影響し、ヒートショックなど社会問題にもなっています。つまり世の中には断熱不足の「なんちゃら省エネ住宅」が少なくないので。

そこで、私は、省エネ住宅をあえて『真の省エネ住宅』と定義しています。



③ 真の省エネ住宅のスペック
『真の省エネ住宅』は、冬、健康を確認しましょう。平成25年に省エネ基準が大改正され、外皮の断熱性と一次エネルギー消費量の基準が再整備されました。外皮の断熱基準はQ値からU値へと表現方法は変わりましたが性能的にはほぼ同水準で、未だに17年前(平成11年)の断熱基準が最高等級な

健康快適住宅にはならない
② 断熱基準の最高等級をクリアしても
健康快適住宅にはならない
ます、現在の省エネ基準について再確認しましょう。平成25年に省エネ基準が大改正され、外皮の断熱性と一次エネルギー消費量の基準が再整備されました。外皮の断熱基準はQ値からU値へと表現方法は変わりましたが性能的にはほぼ同水準で、未だに17年前(平成11年)の断熱基準が最高等級な

U-NAT-SU HOME)の清水雅彦です。これから「省エネ住宅のエンドユーザーへの伝え方」について、私が実践している提案方法をご紹介していきます。第一回は「真の省エネ住宅」の普及活動に取り組むに至った背景と目的を「エンドユーザーへの伝え方」を交えながら説明します。

はじめまして。船津地産株式会社(FUNATSU HOME)の清水雅彦です。これから「省エネ住宅のエンドユーザーへの伝え方」について、私が実践している提案方法をご紹介していきます。第一回は「真の省エネ住宅」の普及活動に取り組むに至った背景と目的を「エンドユーザーへの伝え方」を交えながら説明します。

はじめまして。船津地産株式会社(FUNATSU HOME)の清水雅彦です。これから「省エネ住宅のエンドユーザーへの伝え方」について、私が実践している提案方法をご紹介していきます。第一回は「真の省エネ住宅」の普及活動に取り組むに至った背景と目的を「エンドユーザーへの伝え方」を交えながら説明します。

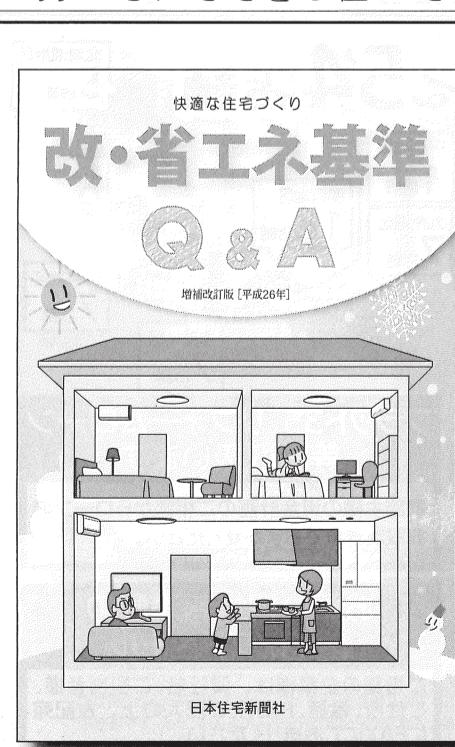
はじめまして。船津地産株式会社(FUNATSU HOME)の清水雅彦です。これから「省エネ住宅のエンドユーザーへの伝え方」について、私が実践している提案方法をご紹介していきます。第一回は「真の省エネ住宅」の普及活動に取り組むに至った背景と目的を「エンドユーザーへの伝え方」を交えながら説明します。

はじめまして。船津地産株式会社(FUNATSU HOME)の清水雅彦です。これから「省エネ住宅のエンドユーザーへの伝え方」について、私が実践している提案方法をご紹介していきます。第一回は「真の省エネ住宅」の普及活動に取り組むに至った背景と目的を「エンドユーザーへの伝え方」を交えながら説明します。

はじめまして。船津地産株式会社(FUNATSU HOME)の清水雅彦です。これから「省エネ住宅のエンドユーザーへの伝え方」について、私が実践している提案方法をご紹介していきます。第一回は「真の省エネ住宅」の普及活動に取り組むに至った背景と目的を「エンドユーザーへの伝え方」を交えながら説明します。

| 省エネ住宅の学ぶ場 | |
|-----------|---|
| 技術論 | ○ |
| 伝え方 | × |

（毎月5日号に掲載します）



日本住宅新聞社 待望の第2弾

～2020年省エネ義務化のカギはこれだ～

既刊
好評発売中！

快適な住宅づくり 改・省エネ基準 Q&A

[増補改訂版] 平成26年

本書は大好評のうちに完売を致しました、2013年3月発行の「改・省エネ基準Q&A(平成25年版)」にその後の情報を加え、大幅に加筆・改訂。待望の第2弾として、この度発刊致しました。

A5版：130頁
定価：650円(本体価格)+税
発行：(株)日本住宅新聞社

お申込みはFAXで
03-3823-2566

日本住宅新聞社
管理部 書籍販売担当 行

| | |
|-----|--|
| 冊数 | |
| 御社名 | |
| ご氏名 | |
| 御住所 | |
| TEL | |
| FAX | |